

## 総合調整会議の概略（2014. 4. 16）

- 日時：平成26年4月16日（水） 8:50 ～ 9:10  
○場所：栗東市役所3階談話室  
○出席者：市長、副市長、部長等

### <会議内容>

#### 1. 市長の指示事項

##### 市長からの指示

- ・年度冒頭の市内公共施設を訪問しているが、実際に現場を見て、声を聞くことが大切だと再認識した。各部においても、現地に出向いて、人間関係や地元との調整など、話に耳を傾けるよう努めること。
- ・次週から開催される部別経営会議について、万全の準備を行い臨むこと。
- ・4月21日に開催される議会説明会について、簡潔で丁寧な説明を行うこと。
- ・部内の業務調整など、円滑に進めることができるよう、部内への目配りをする事。

#### 2. 報告事項

##### 【案件名】栗東市子ども・子育て支援事業計画策定にかかる今後のスケジュールについて

→ 子育て応援課長から説明

- ・今年度は、5月から8月の間で、「子ども・子育て会議」を4回開催し、計画案の策定を進めていく。
- ・9月に計画案を総合調整会議に諮り、県への報告を経て、11月にパブリックコメントを実施する。
- ・パブリックコメントにおける意見等を踏まえ、計画案を修正し、総合調整会議や「子ども・子育て会議」における審議を経て、3月に確定した計画を取りまとめる予定である。
- ・計画策定に伴う、各種条例の改廃手続きについては、昨年度中とされていた国の政省令が未だ示されていない。国からの提示があり次第、9月議会への上程などを行っていく。

区分：了解

##### 【案件名】滋賀大学「地（知）の拠点整備事業」への連携・協力について

→ 教育部長から説明

- ・滋賀大学が文部科学省へ「地（知）の拠点整備事業」を申請されるため、滋賀大学との連携事

業として、「栗東市教育委員会と滋賀大学教育学部との相互協力協定書」に基づき、滋賀大学の教育実習受入れ等を継続実施していることから、本市の再生・活性化に寄与する重要な事業であり、引き続き連携・協力して取り組んでいくため、市教育委員会として副申書を提出するものである。

[市長]

- ・今回の事業申請が行われることで、これまでと何か変わることはあるのか。

[教育長]

- ・これまでと変わることは特にない。市としてこれまでに大学と連携して進めてきた取り組みについて、成果があるという副申を行うものである。

**区分：了解**

### 【案件名】「栗東市公式 Facebook ページ」の運用開始について

→ 広報課長から説明

- ・平成26年5月1日から運用開始を予定しており、4月28日の定例記者会見や広報5月号で、周知する予定である。
- ・運用および投稿時間は、原則として開庁時間内とする。運用が軌道に乗るまで、当面の間は、市政情報やイベント・行事等の案内、状況報告など各課から提供してもらった掲載情報を、広報課職員が集約し随時投稿する。将来的には関係各課からの情報投稿を視野に踏まえた運用とする。
- ・利用者からの投稿、コメント等に対しては、必要に応じて返信を行い、全てのコメントに対して返信はしない。

[教育部長]

- ・3月議会で、「くりちゃん」をページの名称とすることはできないのかという意見が出ていた。

[広報課長]

- ・商標登録の手続きが完了していないため、現時点でページ名称としての使用は控えてもらいたいとの観光部局の意向であったが、開設していくページ内では、積極的に紹介をしていきたい。

[健康福祉部理事]

- ・利用者からの投稿について、禁止行為に該当するかどうかの判断は、広報課で良いのか。

[広報課長]

- ・基本的には、広報課で行う。ただし、場合によっては各課に問い合わせることもある。

**区分：了解**

### 3. 閉会

#### 副市長からの挨拶

- ・新年度に入って2週間が経った。部内における業務が円滑に進められているかなど、職員への目配りをする事。
- ・昨年度は風疹が流行したが、今年度は麻疹の流行が拡大している。保育園幼稚園における感染状況等を確認し対応を図るとともに、職員においても体調管理に十分留意すること。

以上